

(様式1・小学校用①)

令和5年度 学校評価報告

草加市立高砂小学校
(令和6年2月1日作成)

1 学校教育目標 ◎学校教育目標 あかるく かしこく たくましく ○キャッチフレーズ 笑顔・やさしさ・パワーあふれる学校 高砂小	
2 重点目標・努力目標 ○幼保小中を一貫した教育の推進 ・交流活動の推進 ・自己肯定感・自己有用感を育む ○国語力はすべての教科の土台 ・コミュニケーション能力、表現力、人間関係の構築 ・子どもの主体的な話す力 「学ぶ喜びを実感する子どもの育成」 ～子どもの問題解決を重視した授業改善～	3 前年度の成果と課題 成果 ○校長のリーダーシップのもと、高砂小ハンドブックを繰り返し全職員で確認することで、共通理解、共通行動のもと、自己肯定感、自己有用感を育む児童の育成ができた。 ○感染症対策を講じながら、持久走大会や地域防災訓練等、保護者、地域と連携し、円滑な行事を運営し、地域との信頼関係の結びつきが強まった。 ●在校時間を削減できるように、行事のスリム化や、教育計画のスリム化等、働き方改革を次年度も推進していく。 ●タブレット端末の授業や業務での有効活用を校内で研修し、共有することにより全職員でICT活用の充実に取り組む。

4 評価表 ※評価基準 [A:十分達成している B:おおむね達成している C:やや不十分である D:不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	・学校経営目標、方針 ・校務分掌組織 ・適所への適材配置 ・職員会議等の運営 ・予算の執行・決算、監査等	A	○ハンドブックを繰り返し活用することで、学校経営方針が全職員に浸透し、「チーム高砂」として、教育活動を着実に推進できた。 ●教職員数が多く、共通理解・共通行動が取れていない場面もあるため、校務支援システム等を活用しながら情報の共有を図る。
	②研究・研修	・研究組織、計画、実施 ・校内研修の推進 ・授業改善への取組 ・校外研修会への参加 ・人材育成	A	○外部から指導者を招き、研究推進委員長を中心として、教職員が主体的な研修を進めることができた。 ●計画的に研修を進めていく必要がある。
	③保健管理・安全管理	・保健計画、安全計画 ・環境衛生の管理 ・健康観察、安全点検 ・緊急事態発生時の対応 ・危機管理マニュアルの作成・活用	A	○複合施設として保育園、コミュニティセンター・児童クラブと密に連絡を取りながら、合同避難訓練を実施することができた。 ●児童が自ら判断し、行動できるように指導していく。

④情報管理・施設設備管理	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の管理、保護 ・施設設備の管理と有効利用 	B	<p>○情報管理・施設設備管理について日頃より危機意識をもって取り組むことができた。</p> <p>●使用したものがもとに戻されていないことがあった。各主任を中心に管理の徹底を進めていく。</p>
⑤地域との連携 開かれた学校	<ul style="list-style-type: none"> ・学校情報の発信 ・学校公開の実施 ・学校運営協議会の推進 ・地域、校種間連携 ・PTA活動の活性化 	A	<p>○ホームページと学校メールを通して、情報を発信することができた。</p> <p>●今年度から地域の交流もだんだんとはじまり今後は、見通しをもって交流を進めていく。</p>
⑥幼保小中を一貫した教育	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す子ども像の共有 ・15年間を通じたカリキュラムの編成 ・一貫教育推進のための組織づくり 	A	<p>○年度初めに中学校区の管理職等で集まり、共通理解を図り、中学校区で目指す児童を意識して取り組むことができた。</p> <p>●制限していた交流活動も少しずつ増えてきたため、計画的に実施する必要がある。</p>

(様式1・小学校用②)

		草加市立 小学校		
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> ・15年間を通じたカリキュラムの編成、実施 ・教育計画の作成 ・教育活動の評価 ・目標、方針の周知 ・授業時数の配当、確保 	A	<p>○授業時数を確保し、計画的に実施することができた。</p> <p>●教育活動の充実と教職員の働き方とを図りながら進めていく。</p>
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画の立案 ・主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善 ・評価、評定の工夫 ・外部人材の活用 	B	<p>○外部指導者を招きながら、授業改善を図ることができた。</p> <p>●若手教員が多いため、ベテラン教員の指導技術の伝授等が必要である。</p>
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> ・全体計画の作成 ・各教科との関連 ・道徳的実践力の育成 ・家庭、地域社会との連携 ・いのちの教育の推進 	B	<p>○授業研究会で、外部指導者を招いて指導、講義等を受け、実践力を養うことができた。</p> <p>●各教科等との関連を深め、教育活動全体に生かしていく必要がある。</p>
	④外国語・外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画の立案 ・指導方法の工夫と改善 ・評価、評定の工夫 ・各教科、道徳教育との関連 ・中学校との連携 	A	<p>○ALTと外国語専科と連携を深め、児童が意欲的に取り組む授業が実践できた。</p> <p>●授業参観等、中学校区との連携を深めていく必要がある。</p>
	⑤特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画の立案 ・学級活動、学級経営 ・学校行事 ・児童会活動 	B	<p>○開校70周年の節目の年で学校行事の充実を図ることができた。</p> <p>●学校行事だけではなく、授業の充実を図る必要がある。</p>
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画の立案 ・指導内容の充実 ・指導方法の工夫と改善 ・評価の工夫 ・地域の人材・物的資源の活用 	B	<p>○外部講師を招いて授業を行うなど、学年単位で様々な授業を行うことができた。</p> <p>●自分たちの生活とより身近なものとして捉えさせながら、課題意識をもって授業を行う必要がある。</p>

⑦生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・組織的な生徒指導 ・問題行動への対処 ・教育相談、児童理解 ・いじめ防止対策 ・保護者、地域、諸機関との連携 	B	<p>○生徒指導主任を中心に共通理解を図る部分は図りながら、進めることができた。</p> <p>●組織的な対応ができていない部分があるため、より組織的に対応できるよう取り組んでいく。</p>
⑧キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の立案 ・指導内容の充実 ・中学校との連携 ・啓発的経験の充実 ・家庭、地域との連携強化 	B	<p>○キャリアパスポートを活用して進めている。</p> <p>●学年に応じたキャリア教育の充実を図る必要がある。</p>
⑨特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の指導計画、支援計画 ・指導方法の工夫と改善 ・通常学級との交流 ・諸機関との連携 ・校内支援体制の整備 	B	<p>○教育支援室や他機関と連携を取りながら一人ひとりを大切にしながら、進めることができた。</p> <p>●校内研修の充実を図る必要がある。</p>
⑩学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画、支援計画の作成 ・図書館補助員の活用 ・諸機関との連携 ・図書館の整備 ・図書館利用の工夫 	A	<p>○読書賞状や各学級での取組、委員会活動等、本を読む児童が多い。</p> <p>●本を読まない児童との2極化解消を引き続き行う。</p>
⑪情報教育	<ul style="list-style-type: none"> ・教育計画の作成 ・校内研修の充実 ・ICT機器の積極的な活用 ・情報モラル教育の推進 	B	<p>○タブレット端末を活用した授業が多く見られた。</p> <p>●タブレットを使うと同時に学年の実態に応じた情報モラル教育を進めていく。</p>
⑫人権教育	<ul style="list-style-type: none"> ・全体計画の策定 ・各教科との関連 ・人権感覚の育成 ・校内研修の充実 	B	<p>○校内研修や資料の配布等、人権感覚の意識向上に取り組んでいる。</p> <p>●幅広い人権課題を意識して指導の充実を図る必要がある。</p>

(様式1・小学校用③)

草加市立高砂小学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
III 特色ある学校づくり	①学校教育目標 あかるく かしこく たくましく の具現化	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画の立案 ・組織的な対応 ・基本的な生活習慣の定着 	B	<p>○自己肯定感・自己有用感をはぐくむ研究に取り組み、多くの子どもたちは明るく、元気よく、仲良く生活ができています。</p> <p>●これまで同様、わかりやすい授業づくりに取り組み、学力向上に取り組む。また、あいさつは、改善されてきてはいるが、課題であり、引き続き指導を行っていく。</p>
	②開かれた学校 家庭・地域・社会 との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の立案 ・環境整備 ・人材の活用 	A	<p>○避難所運営訓練を実施したり地域のイベントに金管バンドクラブが出演したりと地域とのつながりを大切にして活動することができた。</p> <p>●地域の人材等を計画的に活用していく。</p>
	③働き方改革を柱とした業務改善	<ul style="list-style-type: none"> ・時間外勤務削減 ・校務の精選 ・環境整備 	B	<p>○計画年休の取得促進、校務支援システム、タブレット端末を活用しながら、早期退勤を促してきた。</p> <p>●業務の見直しを図り、</p>

5 総合評価（学校関係者評価を含む）

- ・校長のリーダーシップのもと、高砂小ハンドブックを繰り返し全職員で確認することで、共通理解、共通行動のもと、児童を育成することができた。
- ・運動会、70周年記念式典や地域防災訓練等、保護者、地域と連携し、円滑な行事を運営し、地域との信頼関係の結びつきが強まった。
- ・金管バンドクラブを中心に地域の行事に積極的に参加することができた。
- ・毎月の安全点検をもとに、施設設備の安全にも全職員がアンテナを高く保ち、高い危機管理意識をもって教育活動に取り組むことができた。
- ・HPの積極的な更新、「すぐーる」を活用した保護者への情報発信等、開かれた学校づくりが推進できた。

6 次年度の改善策

- ・わかりやすい授業づくりの実践を全職員で行い、自己肯定感、自己有用感とともに学力の向上に取り組んでいく。
- ・積極的に地域と関わり、有効的かつ効率的な人材活用の実施を行う。
- ・在校時間を削減できるように、働き方改革を次年度も推進していく。
- ・タブレット端末の授業や業務での有効活用を校内で研修し、共有することにより全職員でICT活用の充実に取り組む。